第３回旭川市若者の郷
活性化協議会　資料

第２回旭川市江丹別若者の郷活性化協議会　協議事項

日時：平成２６年１０月１０日（金）午後１時３０分～午後３時３０分
場所：旭川市江丹別若者の郷・若者センター　２階和室

１．江丹別若者の郷の活性化策について

（１）地域資源を活かした体験メニューについて

・星が奇麗
・虫捕り（蝶々・バッタは採れる。カブトムシ・クワガタは難しい）
・魚釣り（稚魚の放流）
・とみはら自然の森の「クラフト作り体験」を若者の郷でも実施する。
・森林浴ヘルスツアーの拠点とする。（ストレス診断や血圧測定も導入）
・冬のスノーモービル等の発着場・拠点施設とする。（市営牧場，周辺農地も活用）
・冬のかんじきウォーク（江丹別峠は隠れたスポット）
・夏のバギーやオフロードバイクのコース設定
・フットパスコースの設定（江丹別の散策・牧場周辺・直売所など），セグウェイ
・カエデの樹液採取
・カエデオーナー制度
・キノコ・山菜の採取（栽培用のほだ木の増設・植林なども検討）
・カエデ・キノコ・山菜などのマップ（年間通してこの時期には〇〇が採れるというのが分かる散策マップ）
・伊勢ファーム前の建物（土の家）の活用
・残雪の活用（６月まで排雪場に残っている）
・江丹別ダムの活用（水上バイク・ジェットスキー）

＜その他意見＞

・江丹別でなければ叶わないメニュー作りにすることがカギ。
・他の地域とも連携すべき。（実績：チーズとワインのコラボ）

（２）地域資源を活かしたレシピ開発について

・ウチダザリガニの活用（保留）
・そば焼酎
・そば味噌
・ホエーの活用

＜その他＞

・そば打ち体験を，直売所等と連携し総合的に人を集める手段として有効活用すべき。
・麹発酵機を有効活用し，農産加工施設の冬期稼働率を向上させる取組を進めるべき。
・若者の郷に，地場産品等を紹介するアンテナショップ機能を付与する。
・若者の郷の利用者へ情報提供（直売所等）を提供し，地域に繋いでゆく取組を強化すべき。

（３）合宿等の誘致について

（４）施設紹介（ＰＲ）方法について

・テニスコート３面を補修し高校・大学・企業等の合宿誘致に乗り出すべき。
・若者の郷ホームページをリニューアルすべき。
・若者の郷独自の宣伝媒体（パンフレット等）を作成すべき。
・広報誌による宣伝も引き続き行うべき。

２．その他

＜イチイ並木＞

・活性化の一翼を担う場所と位置づける。フットパスコース等への活用も見据える。
・枯れた部分は伐採せざるを得ないと思われる。
・最終報告書を確認後，新植する樹種や活用方法を検討する。
・山側のスペースは有効活用すべき。

＜その他＞

・委員による先進事例の視察